

V. 特記事項

1. 商学部の特性を活かした教職課程の設置・運用

本学の教職課程では、教育職員免許法並びに同法施行規則などの法令に基づいたカリキュラムを履修することにより、高等学校教諭1種免許状「商業」及び「情報」（経営学科のみ）を取得することができる。本学の建学の精神及び教育理念を踏まえて、次の3点を教育目標として掲げ、『教職課程履修の手引き』【資料 特 1-1】や本学ホームページにて情報公開している。

- ①教育に対する深い理解と強い情熱と使命感を持った教員の養成
- ②教育の専門家としての確かな力量と優れた教育技術を持った教員の養成
- ③総合的な人間力を持った教員の養成

商学部として掲げる育成する高校教員像は、下記の5点である。

- ①問題解決学習力と高い倫理性を持ち高度なビジネス教育ができる。
- ②教育学・心理学の高度な教職教養と専門性を身につけ、生徒理解につとめ、生徒の学習を支援するだけでなく学びを保証するための専門的知識とスキルを身につける。
- ③高度なデジタルリテラシーと情報処理能力を身につける。
- ④経営学・会計学など商学の高度な専門性すなわち専門的知識とスキルを身につける。
- ⑤予測困難な、VUCAな社会の到来を踏まえて、未来を想像でき、新しい概念や価値を構築できる教養と専門性を身につける。

なお、本学教職課程の卒業生は、地元小中高校を始め、全国各地で教員として活躍している。

また、本学教職課程の特徴の1つは、主に本学出身の現職教員と教職課程履修学生との関係性が強いことがあげられる。これは、正課外での教職課程行事、例えば学園祭時のシンポジウムや研究会の開催、教育実習のための模擬授業合宿など現職教員の招聘を積極的に行い、学生との交流を密に行うことで強い関係性が築けていると考えられる。在学生を対象とした新入生歓迎会、教育実習報告会、卒業生を送る会等による学年を越えての交流も積極的に行われていることも要因の1つと考えられる。

特に教職課程を履修する学生は高い学修意欲と、明確なミッションや志を動機とした「学び」のもとに懸命に研究する姿勢を身につけている。模擬授業合宿で先輩教員の指導・助言のもと、実践的指導力の基礎を体得し、その際作成した学習指導案や授業方法の検討及び所見等、成果の一部は「高崎商科大学教職研究年報」【資料 特 1-2】などの刊行物に掲載している。

以上のように、課程の教育目標や育成する高校教員像に向けて、学生は着実に力をつけており、本学教職課程は高い志を持った教師の輩出に寄与していると自己評価できる。

[エビデンス集・資料編]

【資料 特 1-1】 教職課程履修の手引き

【資料 特 1-2】 高崎商科大学教職研究年報